

平成 21 年度 地域密着型金融の推進に関する取組み状況について

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

ア．創業・新事業支援

県市町の制度融資の活用等により、創業・新事業支援に関する融資を、21年度中に80件（552百万円）実行いたしました。

今後とも、「あしかが企業育成ファンド二号投資事業有限責任組合」（株式会社ジャフコとの提携により21年1月組成）による出資機能を含め、営業エリアにおける有望なベンチャー企業の資金ニーズに対応してまいります。

イ．経営改善支援・事業再生

経営改善支援・事業再生支援に関しては、支援先の実態把握ならびに経営改善計画の実効性を高める観点から、必要に応じて中小企業再生支援協議会等の公的機関やコンサルティング会社等の外部専門家と連携し、専門知識やノウハウを積極的に活用しながら、個々の企業の状況に応じた支援を行っております。

21年度における外部機関を活用した支援実績は、中小企業再生支援協議会が40先となりました。

< 経営改善支援等の取組み実績（21年4月～22年3月） >

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支 援取組み先	のうち期末	のうち期末	のうち再生 計画を策定し た先数	経営改善支 援取組み率 = / A	ランク アップ率 = /	再生計画 策定率 = /
			に債務者区分 がランクアップし た先数	に債務者区分 が変化しな かった先				
正常先	25,675	98		3	23	0.4%		23.5%
要 注 意 先	10,226	284	2	257	74	2.8%	0.7%	26.1%
要 注 意 先	459	177	168	5	34	38.6%	94.9%	19.2%
破綻懸念先	1,428	84	41	41	23	5.9%	48.8%	27.4%
実質破綻先	300	1	1	0	0	0.3%	100.0%	0.0%
破綻先	87	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
小計 (～計)	12,500	546	212	303	131	4.4%	38.8%	24.0%
合計	38,175	644	212	306	154	1.7%	32.9%	23.9%

ウ．事業承継

21年度は、後継者への自社株式移転等の事業承継に関する相談対応の件数が117件となったほか、後継者不在に悩むお取引先を中心に、M & Aに関して58件の相談に対応いたしました。

また、お取引先における後継者育成をサポートする研修セミナーとして、11回目となる「ニューリーダー養成道場」を、7月に開催いたしました。

今後とも、お取引先における個々の事業承継ニーズに対し、適切な支援を行ってまいります。

事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

21年度は、当行がアレンジャー兼エージェントを務めるシンジケートローンを1件（総額406億円）組成したほか、お取引先の発行する私募債を15件（20億円）引受けました。また、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資への取組みとして、流動資産担保融資を5件（180百万円）実行いたしました。

そのほか、事業価値の見極めや融資審査における行員個々の能力向上に向け、行内外における研修やトレーニー制度を通じ、人材育成にも努めております。

今後とも、不動産担保や個人保証に過度に依存することなく、お取引先の多様化する資金調達ニーズへの対応を進めてまいります。

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

ア．地域における営業支援情報の提供

（ア）情報営業の展開

行内イントラネットにおける営業情報の受発信を行うシステムを活用し、お取引先の様々なニーズに対して、情報営業を積極的に展開しております。

21年度は、22年1月に、地元の食品製造・販売業者に対するビジネスマッチングの取組みとして、「食の展示・商談会」を栃木県との共同により初めて開催いたしました。

また、3月には全国銀行協会が運営する全国に向けたビジネスマッチング支援サイト（全銀e-ビジネスマーケット）の取扱いを開始いたしました。

(イ) シンクタンクによる情報機能

21年4月に設立した「株式会社あしぎん総合研究所」において、地域経済の動向や景況調査等の情報提供に取組み、21年度中は、ニュースレターによる公表を23回行いました（「あしぎん経済概況」：12回、「あしぎん景況調査」：4回、「ボーナス支給予測調査」：2回、その他の調査：5回）。11月からは、毎月1回、「とちぎテレビ」の地元情報番組において、栃木県経済に関する情報提供を行っております。

また、同社では、中小企業の人材育成のための研修・セミナーを多数実施しているほか、外部講師を招いた実務セミナーも随時開催しております。

なお、10月からは、同社において会員の募集を開始いたしました。今後、会員の方を対象として、経営や実務に関する情報提供やインターネットサービス等によるご支援のほか、企業経営に役立つ最新情報を継続的に提供し、地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

(ウ) 経済講演会・セミナーの開催

21年度は、地元中小企業を中心とした地域産業の活性化を支援するため、お取引先を対象とした経済講演会（無料）を2回（21年7月、22年3月）開催いたしました。

また、11月には、中国ビジネスに関する情報提供を目的として、独立行政法人中小企業基盤整備機構と共同で、中国ビジネスセミナーを開催いたしました。

< 21年度開催の経済講演会 >

【ありがとう1周年記念 経済講演会（21年7月開催）】

演 題：「内外から見た日本経済」

講 師：リチャード・クー氏

聴講者：約1,200名

主 催：足利銀行

後 援：あしぎん総合研究所、栃木県産業協議会

協 賛：野村證券

【経済講演会および対談（22年3月開催）】

演 題：「人との出会いとネットワーク戦略」
「今後の中小企業の対応について」

講 師：風間善樹氏、埋橋英夫氏

聴講者：約200名

共 催：足利銀行、あしぎん総合研究所、(財)広域関東圏産業活性化センター

イ．官民・産学の連携に向けた活動

官民の連携活動に関しては、PFI事業への様々な支援に取り組んでおり、栃木県内2件のPFI事業について、事業運営のモニタリングや地元協力企業を紹介する等の情報支援を継続して行いました。また、新たに1件のPFI事業（東雲合同庁舎(仮称)整備等事業）について、ファイナンス契約の締結を予定しております。

産学連携に関しては、21年4月に、当行行員が宇都宮大学地域共生研究開発センターのコーディネータに任命され、現在7名の行員が取引先企業における技術開発などのニーズと同大学の研究（シーズ）をつなぐ情報交換や案件の紹介に取り組んでおります。

また、22年4月より、地域の発展や社会貢献および人材育成に資する取組みの一環として、宇都宮大学において当行の提供講座「一地方銀行の歴史に学ぶ金融論」を開始いたしました。

ウ．地域における金融知識の普及

21年度は、営業店において、地元の小学生から大学生までの職場体験や校外体験学習の受け入れを25件実施したほか、銀行業務に関心のある学生への就業体験の機会提供として、大学生・短大生のインターンシップを15名受け入れました。

また、8月に、栃木県金融広報委員会と連携し、地域の小学生を対象とした『あしぎんキッズスクール「お金の体験学習」』を本店にて開催し、親子15組37名が参加いたしました。

今後とも、地域を担う若い世代へ地方銀行の役割や金融知識の普及につとめるとともに、当行における地域への役割の理解を深めてもらう観点から、インターンシップや職場見学の受け入れ等を積極的に実施してまいります。

以 上